

新年度予算は約189億円(前年度+20億円)

市長・・・「合併特例債最終年度で、事業が膨らんだ」

予算は、まずは
住民の暮らしを守る
予算へ！



『日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書』採択！

12月議会で採択されたのを受けて『日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書』を提出しました。

核兵器禁止条約は、昨年7月7日開催された国連会議において、加盟国の3分の2(122ヶ国)の賛成で採択されました。しかし、日本政府は、唯一の被爆国であるにもかかわらず会議に参加せず、安倍首相は「署名、批准を行なう考えはない」と述べています。その発言に対し、被爆者や自治体関係者から大きな失望と怒りの声があがっています。広島・長崎の被爆者団体が安倍首相と面談し、「いまこそ日本が核兵器廃絶の先頭に立つべきだ」と核兵器禁止条約への参加を強く求めました。

全国の地方議会でも意見書の採択が広がり、今年3月までに全国自治体の1割を超える239議会(日本原水協調べ)になりました。上天草市で採択されたのは、大きな意義があります。



『就学援助金』の新入学児童生徒への支給が6月から3月に変更!

1年前の12月議会で取り上げた『就学援助金制度』が改正され、新入学児童生徒へは、前倒しして3月支給に変更になりました。これまで入学後の6月に支給されていたので、間に合わず保護者もお金の工面に大変でした。この改正は、子育て世代への応援の一步前進でもあります。

《当初予算について》

市長は、施政方針で「地域経済の再生を目指すとともに、市民の安心・安全や暮らしやすさの充実並びに地域の防災力の強化を一層図るため、各施策や事業を積極的に推進する」と述べました。その結果、新年度予算は、前年度から大きく膨らんでいます。新年度の予算や観光について聞きました。

(問) 新年度予算は、前年度に比べ約20億6千万円の増となっている。ふるさと納税が好調とはいえない切った施策だと思うが市長のお考えは？

(答) 大きな要因は、防災行政無線のデジタル化、龍ヶ岳保育園事業、宮津地区複合施設事業だが、合併特例債の最終年度で当初予算に盛り込んだ。特例債の期限延長があれば事業を繰り越す選択肢も出てくる。

(問) 市の財政状況は、人件費、扶助費、公債費など義務的経費はこれ以上削れないところまできている。それならば投資的経費の精査をしなければならぬのではないか。

(答) 今後の投資を減らしていかなければならないというのは同じ考えです。公共施設の維持管理に毎年17億円かかるとの試算がでている。総合管理計画を立てて、施設を統合していくことも一つの考え方だと思う。そういった意味では龍ヶ岳保育園や宮津の複合施設事業はそのモデルケースとして考えて頂きたい。



《観光開発について》

(問) 千歳山・前島地区総合開発は最終年度だが、これまで前島地区だけでも事業費は約16億2千万円と答弁されている。千歳山の開発はこれからだが、費用対効果をどう考えておられるのか。

(答) 本市を代表する観光地であるとは認識しています。先行して整備された施設も高い集客力を誇って頂いている。今後の整備でまた注目されるし、施設の運営の仕方にずいぶん寄るところがある。地元の方々が参画しなければ経済効果は限定される。民間主導の新しい投資の話も複数きているし、最大の効果を狙って運営を目指していきます。

(問) 観光は市の基幹産業と位置づけられて、タレントを使ったPR動画など毎年大きな予算を投入している。成果をどう考えるか。

(答) 観光が基幹産業であることは間違いない。観光関連の予算は、主に地方創生交付金を100%使った事業です。今後は採択が難しくなるが、効果が高い事業については、積極的な取り組みも必要だと考えています。



宮下しょう子のひまわり新聞

2018年3月
～第76号～

日本共産党上天草市委員会
上天草市大矢野町中 4435-9
Tel0964-57-0408 Fax0964-57-0410

宮下しょう子自宅
上天草市姫戸町姫浦 2381
Tel・Fax0969-58-2901 携帯 090-5283-3100

小中学校にエアコン設置決まる！(昨年12月補正予算)

平成30年度に中学校へ、平成31年度に小学校へ設置予定

これまで何度も議会で取り上げ要求してきた『小中学校へのエアコン設置』が決まりました。昨年12月議会へ提案された一般会計補正予算で『調査委託料』が計上され、平成30年度は、入試を控える中学校へまず設置し、来年度は小学校へ設置される予定です。温暖化により、教室の暑さは大変厳しくなっており、PM2.5により窓を開けられない日も出てきています。これで、子ども達の学習環境が整い、保護者も安心されることでしょう。



介護保険料引き上げ・・・強く反対！

基準額で年間67,200から69,600円へ(賛成多数で可決！)

今回の条例改正によって保険料は基準額で2,400円引き上げられます。最高額納入の人は年額4,080円の値上げです。

介護保険は3年に一度見直されますが、連続の引き上げです。市は、基金を取り崩し引き上げ額を抑えたと説明しましたが、上天草市の市民所得は他市に比べて低くなっています。

昨年実施した『市民アンケート』でも、国保税、水道料の次に高いという結果が出ています。市民からは「今でも負担が重い。1円足りとも上げてほしくない。」という声があがっています。年金は減る一方で、公的支払いは増え、物価も上がる。こんな状況での引き上げはすべきではありません。

『議案第6号 上天草市一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について』は修正動議を提出！

～～賛成10 反対4で『修正動議』は可決～～

この条例改正は、職員の給与改定に関するものですが、「等級別基準職務表(行政職給料表)において、『統括支所長』を現6等級から5等級に引き下げるものです。

執行部の説明は「給与上の取り扱いだけで、課長としての位置づけ、権限は変わらない」としていますが、「町民にとってどう変わるのか？」との問いに対し「サービスの向上は無い。新たに『地域づくり支援』『防災業務強化』を増やす」と答弁。

付託された総務常任委員会において、「修正動議」を提出するも賛成1、反対2で否決され、最終日の本会議で、他議員より再び修正動議が出されました。上天草市は、合併後15年目を迎えます。この間、支所は職員数も減り続け、窓口業務は民間に委託されました。現状は住民の要望に即対応できないこともあり、また、災害時の緊急対応も懸念されます。地域住民の間にも、4町間の不公平感を感じる人も多くいます。

新たな業務として「地域づくり支援」を追加し、「防災業務」も増えれば、仕事量も増えることとなります。支所機能をどうするのか、今後の方向性を住民に示した上で再検討すべきです。



《4町の均衡ある発展について》

上天草市は合併後15年目を迎えますが、「均衡ある発展」という言葉は、姫戸・龍ヶ岳住民にとってまだまだ遠い存在です。「対等合併だったはずなのに」と言う声も聞かれます。姫戸町出身である市長へ思いを聞きました。

(問)市長は「4町の均衡ある発展については課題もある」と答弁されているが思いを聞きたい。

(答)大矢野・松島に比べて圧倒的に弱いのは、第一次産業従事者、農業だと思います。今後『まち』を作っていくためには、移住を受け入れる体制とかUターンしてくる環境をつくるのが重要だと思います。観光については、ブランドイメージを高めたり、観光に携わる人が増えるというのとはとても重要です。自分で仕事を起そうとかNPOで地域に貢献するなど考えを持った方々が必要だと思います。

(問)若い人たちがリーダー的な存在となってやっていかなければ、そこに活気は生まれません。若者が帰って来たり、市外へ出て行かなくても地元で頑張れるようなことを考えていかなければいけないのではないかと。観光面では、松島中心に観光開発が進んでいるが、その流れをどうやったら姫戸・龍ヶ岳まで届くようにできるのか。住民を巻き込んでやることも活気がうまれるきっかけになるのではないかと。

(答)大矢野町の底力は、第一次産業従事者だと思っている。

さんぱーる出荷協議会もメンバーは非常に若い。会長は龍ヶ岳の方だし、相乗効果はあっている。まだまだ頑張れる環境にあると思ってるので、我々も同意しながらやっていきたい。



《浄化槽設置について》

汲み取り式から浄化槽へ転換は、補助金額増へ！

上天草市の浄化槽設置は、県下でワースト2位となっています。これまでも補助金を出して設置を進めていますが、なかなか普及しません。

(問)「整備事業に対する市民の理解が進んでいない」ことを、ひとつの原因にあげられ、新年度では前年度の2割増しの予算計上となっているが。

(答)転換する基数が若干横ばい状態で、汲み取り式から合併浄化槽へ転換する場合、補助金額を増やすということです。

(問)浄化槽への転換は、『環境問題』だという意識づけをしなければ進まないのではないかと。

(答)広報紙やHPに掲載し、浄化槽協会業者や設備組合等業者に説明会など実施して周知徹底を図っていきます。